



王喜の郷の輪 第30回

ケアハウス王喜の郷入居者へのインタビュー



今回は3月末日で11年間の警備のお仕事を退職される〇〇号室にお住いのT.M様に今のお気持ちを文章にて披露して頂きました。

私は3月末日で11年間、山口大学病院で救急外来警備という業務を二人での交代勤務としてやってきました。

救急外来警備の仕事は主に救急車の対応、そして同乗されて来られた家族を医事課へお連れし事務手続きをお願いする事です。院内の処置室に搬送される場合は重度の方が多いので生死に関わる場合が多いです。辛いのは救急車に同乗された家族が泣き叫ばれる時です。どう対応してよいのかわからないので、その時は女性ナースに頼みます。

亡くなられた後、ご遺体を清めて警察の検視があり、その後葬儀社が来訪します。その時は警備が当直ナースに連絡をいれて処置室に案内します。

今は以前より仕事量が増してきています。各病棟から車椅子、点滴棒、台、酸素ボンベ、ストレッチャーの回収を行います。薬剤部からは薬の処方箋を患者様にお渡しする事を依頼されます。

今大学病院は改築、改修が進み以前より病棟が増えました。来院される患者様も平時で一日1400人前後、多い時で1600人超が来院されます。外来患者様のご家族がよくわからないまま救急の所に来てウロウロされるのがモニターで毎日の様に写ります。その時、親切で丁寧な対応で案内させていただくと、とても喜ばれました。

11年間という長期にわたり仕事を続けられたことは、ケアハウスの方々のご協力と御理解があったからこそ、そして「自分のやれるとこまでやれ」の信念をもって続けたからこそだと思います。皆々様 ありがとうございます。



本当に11年間、大変お疲れ様でした。たくさんの経験がこれからの M 様の人生にプラスになると信じております。まずはお体をいたわって、ゆっくりされて下さいね。

たんぽぽ通信

4月1日発行 230号
ケアハウス王喜の郷 令和8年4月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

巻頭言

早かった開花予報も3月からの冷えこみで例年並みの開花になったようですね。寒さが続きましたが、そろそろ夏の暑さを予想して備えをしておきましょう。水分補給だけでは物足りません。2月に国から施設に、暑さ対策の物品購入補助金が出る知らせがありました。サーキュレーター、日除けスクリーン、戸外用の椅子、バーベキューこんろなどを購入させていただいております。昨年職員に人気だったのはネッククーラーというアイスノンの首巻タイプでした。首を冷やすと気持ちがいよようです。さて今回のT.M様へのインタビュー、皆様読まれてください。11年間のお勤め、盆も正月もなかったので体が心配でしたよ。患者様やご家族様の不安な気持ちに寄り添った対応をされ、どんなに心を慰められたことかと思えます。前田さんのやさしさが読んでいて試みてきます。夜勤勤務が多かったため、面識のない方も多いでしょうがこれからはよろしく願いいたします。 施設長 末谷千秋

週に一度、手作りデザートを作っています。

🍰 4月のデザート 🍰

- ① 柑橘ゼリー
- ② ぜんざい
- ③ 杏仁豆腐

K.N 様 入居されました。
T.T 様 退居されました。
K.N 様 退居されました。
A.S 様お亡くなりになりました。
ご冥福をお祈りいたします。

4月のお誕生日 & 行事予定

		水		木		金		土	
		1	2	3	4				
5 清明	6 K.O 様 誕生日	7	8	9	10	11			
12	13	14 K.F 様 誕生日	15	16	17	18			
19	20 穀雨	21	22	23	24	25			
26	27 ビューティーヘルパー	28	29 昭和の日	30					

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

ケアハウス王喜の郷

明日は休みだ。今年初めての釣り(初釣り)に行ってみようと思い、釣り具屋へ撒餌さと釣り餌を購入し帰宅。釣り道具を車に積み込み、翌朝6時に家を出て途中コンビニで昼ご飯を買って7時に釣り場「彦島南風泊漁港」に到着。周りを見渡してみると釣り人が一人もいない、平日でも2~3人はいつもいるはずなのにと

思いながら撒き餌と仕掛けの準備。仕掛けを海に投入する前に撒き餌を撒いてみたのですが、ふつうなら小魚が撒き餌に群がるのですが一匹たりとも寄ってきません。魚がいないのかなと思いながら仕掛けと撒き餌を海に何度も投入を繰り返し一度も当たりはなし、海水の温度は冷たく海の中はまだ冬の状態。これでは釣りになりません。道具を片付け屋過ぎに岐路。今度は5月にリベンジしたいと思います。

配食担当 高森豊弘



王喜の郷デイサービスセンター

風が暖かくなり春らしくなってきました。デイサービスの浴室から見えるチューリップの芽が力強く土から出て開花も近いようです。

現在、昼食後に外気浴を実施しています。1日15~20分程度の日光浴で「ビタミンD」を生成し骨を強化し、セトロニン分泌によりストレスの解消や睡眠の質の向上、免疫力アップ、肌の血流促進等の効果があります。

外に出る機会の少ない利用者さんも多く、「気持ち良いねえ」と言われ、大変喜ばれています。

3月30日の令和7年度最後の誕生会は、紅白歌合戦を行ない、皆さんに楽しんで頂きました。

今年度も、様々な催し物を企画し、皆さんに楽しんで頂きたいと考えていますので、楽しみにお待ち下さい。



介護職員 藤永 いさみ

グループホーム王喜の郷ライム

寒い冬も終わり、段々と日差しや風に春を感じられるようになりました。暖かい日には外気浴で外に出てあずまやでゆっくりとお話する時間があります。入社してまだ2ヶ月ですが、入居者の方々と少しずつ楽しく過ごせるようになってきました。

3月初旬までは「寒い寒い」と言われ、外気浴に出られなかった方も出られるようになり、笑顔で花をめでたり他入居者の方と楽しく話をされる姿を見られるようになりました。

外気浴をすることによって、生活習慣病の予防・改善、うつ病の改善にもなります。

室内では温度調整、定期的に換気を行い体調管理に気をつけて過ごしやすい環境を作っていきたいと思えます。



介護職員 池村 佐由里

グループホーム王喜の郷

黄色い菜の花や桜も咲き、過ごしやすい季節になりました。冬の間の散歩では、肩をすぼめておられましたが、最近「上着がいるかね〜?、カーディガンで行こう!」と言われる。戻られると「暖かったよ、行っておいで」と他の方を散歩に誘って下さいます。薄着になり、体操の時の身体の動きも軽くなれたように思います。また、みんなで歌をうたっています。3月は「リンゴの唄」を繰り返し練習し、誕生会で一緒に歌われました。声をしっかり出していただき、懐かしい歌では昔を思い出話も弾んでいます。気分転換もできているように思います。4月は散歩の時に口ずさんでおられる「365歩のマーチ」をリクエストされました。

♪「腕を振って、足を上げて、ワン・ツー、ワン・ツー」♪
元気に春を楽しみましょう。



介護職員 吉中 多佳子

王喜の郷居宅介護支援センター

4月は新年度の始まりであり、生活環境の変化が多い時期になります。そのため、心身の健康管理が特に重要となります。気温差や花粉の影響により体調を崩しやすく、十分な睡眠やバランスの良い食事、適度な運動が求められます。また新しい環境によるストレスにも注意し、リラックスできる時間を確保することが大切です。介護の分野では、利用者や家族の生活のリズムの変化に対応した柔軟な対応が必要となります。特に高齢者は、環境の変化に敏感であるため、安心できる関係づくりや丁寧なコミュニケーションが重要だと思っています。さらに感染症対策を継続しつつ、地域とのつながりを保つことも、健康維持と生活の質向上に寄与する為、支援に活かしていきたいと思っています。

介護支援専門員 中西 威

王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

私たちは、人権やコミュニケーションの取り方の研修に参加し、学んでいます。

サービスを提供するうえで大切にすることは、利用者の人権と尊厳を守り、安全・安心に満ちた生活が送れるように支援させていただくことだと考えています。

利用者がどのような生活を望まれているか、コミュニケーションを図りながら知っていく必要があると思います。

一人ひとりに合ったサービスが提供できるように、その方が望まれている生活のために何をすべきかを常に考えて支援をしていきたいと思っています。



訪問介護員 白石 真理子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

春がやってきました。あちらこちらに花が咲き、鳥のさえずりも聞かれて、通勤時に活力を感じています。

私は昨年の12月1日デイサービスからミントの家に異動となり勤務しています。慣れるまで大変でしたが先輩から「何でも聞いて大丈夫よ」と声をかけて頂き嬉しかったです。介護業務はもちろんですが、食事の準備も日本の料理の名前や盛り付け方などを知ることができ楽しいです。毎日の体操やレクリエーションなどいろいろな学び、利用者の皆さんと一緒にこなしていきたいと思っています。

これからもよろしく願いいたします



介護職員 ナビラ プラディスタ

放課後等デイサービス さくら

二人の高校生の卒業を涙で見送り、こども達は新学年を迎えました。ちょっとした変化や成長を、指導員は日々捉えて話題にして共通理解し、記録に収めます。まだまだ不勉強な私は、はっとさせられたり、そこに深く細やかな愛情があることに胸があつくることが多いです。

去年新しく入った中学生が、「ここでは平等に接してもらえると話したそうです。さくらの真骨頂と私は思います。

こども達と作る菜園の横に植えられた『さくら』の小さな木が、初めての花を咲かせました。他のどんな樹木の花よりも惹きつけられるのは何故でしょう、あのさくら色の美しさ。

今年は子ども達がどんな成長を見せるのか、その支援の一端ですが、精一杯のお手伝いをさせて頂こうと思っています。



支援員 和田育恵